

“ヨーロッパで最も偉大な映画作家” 特集上映第3弾



ジャン＝クロード・ルソー

レトロスペクティヴ III

11月23日 [水・祝]

神戸 神戸映画資料館

11月24日 [木] WORLD CINEMA THEATRE

京都 同志社大学寒梅館ハーディーホール

12月2日 [金]・3日 [土]

東京 アテネ・フランセ文化センター



Rétrospective Jean-Claude Rousseau
 ジャン＝マリー・ストロブとダニエル・ユイレが“ヨーロッパで最も偉大な映画作家”と賞賛し、海外では特集上映も組まれながら、日本ではほとんど紹介される機会のなかったルソー監督。今回は第3弾として、2014年に日本で撮影された最新作や未公開作を含む9作品を、神戸・京都・東京の3都市/3会場にて開催します。

上映作品 作品解説 | 赤坂太輔

ローマの遺跡 Les antiquités de Rome *解説書配布
 1989年 | 105分 | 16mm **K**
 フィルム時代の代表作『閉ざされた谷』の前作だが、入口を通して見た部屋、窓辺、ベッド、断片的な言葉、遠くから聴こえてくる物音など、以後のルソー作品に登場する構図や事物のほとんどが登場し、典型的な作品となっている。 **日本初上映**



彼の部屋から

彼の部屋から De son appartement *日本語字幕
 2007年 | 70分 | Blu-ray 上映 **K A**
 *マルセイユ国際映画祭グランプリ
 監督自身が演じる一人の男の日常。煙草とグラス、ベレニスの朗読とタンゴ。ロベール・ブレッソンを想起させる映像と音をたった一人で作ってしまった、21世紀デジタル時代におけるルソー監督の驚くべき代表作。



ローマの遺跡

Trois Fois Rien (Three Times Nothing)
 Trois fois rien *日本語字幕付き **A**
 2006年 | 78分 | Blu-ray 上映
 監督自身が「モデル」と述べている、一人の青年との対話。二人の旅はパリから北イタリアの山々を背景に続く。いつもの絵画的な構図と静止したかのような時間、画面外の豊かな音の彩りもそれにつれ変化してゆく。



二度の世界周遊

Keep in Touch Keep in touch **K**
 1987年 | 25分 | 16mm
 ニューヨーク滞在中に撮られた8mm映像。アパートの暗い部屋、照明と机とベッド、寒々とした雪の残る通り、車の通る昼と鳥だけがいる夕方、窓から見える屋根、聴こえてくるサイレン、スケート場と一面の雪・・・「そこに私は何かを見た」

偽りの出発 Faux départ **D**
 2006年 | 13分 | Digital BETACAM 上映 | ダイアログなし
 絵が壁にかけられたホテルの室内で、監督自身がポーズをとると、それ自体一枚の絵画を思わせる構図となる。窓が開けられ、外の音が入ってきて、それは突然の移動へとつながれる。

二度の世界周遊 Deux fois le tour du monde **D**
 2006年 | 8分 | Digital BETACAM 上映 | ダイアログなし
 フレームに正面からとらえられた窓枠の中にとらえられた光景、物音が想像させる外の世界。その中を監督自身が行来し、ときにカメラを見つめる。

晩秋 Arrière-saison **D A**
 2016年 | 24分 | Blu-ray 上映 | ダイアログなし
 2014年京都滞在中に撮られた作品の一つで、11月の色鮮やかな自然の美しい京都御所の空間の中で往来する、カラフルな、時に奇妙な人々の佇まい、振舞い、仕草を見つめる。 **世界初上映**

かくも遠く、かくも近く Si loin, si proche **D A**
 2016年 | 26分 | Blu-ray 上映
 2014年京都滞在中に撮られた作品の一つで、主として嵐山、尾道の風景や人々が登場し、ルソー監督を魅了してやまない小津安二郎映画への思いを日本の風景に重ね合わせる作品となっている。 **世界初上映**

愛の歌 Chansons d'amour *日本語字幕 **K A**
 2016年 | 9分 | Blu-ray 上映
 監督自身が演じる男が部屋で座っていると、古い歌が聴こえてくる。鏡、人と扉とカーテンの開閉と黒画面のアクションから浮かび上がってくるノスタルジックなイメージ。 **日本初上映**

ジャン＝クロード・ルソー Jean-Claude Rousseau

1948年パリ生まれ。70年代、ニューヨークでアンディ・ウォーホルらアンダーグラウンド映画の洗礼を受けると同時に、小津映画を発見する。フランスへ帰国後、ブレッソン作品をフェルメール絵画との関係において論じたテキストを著し、処女作『窓際で手紙を読む若い女』(1983)を制作。初長編作は『ローマの遺跡』(1989)。ルソーをヨーロッパで最も偉大な映画作家の一人と称賛するストロブとユイレが、シネマテーク・フランスーズでの自作の上映に際し、ルソーの『閉ざされた谷』を併映。彼らの支援によってオリジナルの8ミリから16ミリに変換される。2001年ヴェネツィア国際映画祭で全作品回顧上映。2007年『derives』ジャン＝クロード・ルソー特集号刊行。2009年『閉ざされた谷』DVD日本語字幕付がcapricci社より出版された。



スケジュール

11/23 [水・祝] 神戸映画資料館 **K**
 13:00 『ローマの遺跡』
 15:05 『彼の部屋から』
 16:35 『Keep in Touch』『愛の歌』
 17:20 Q&A | ルソー監督
 通訳=太治和子
 ◎料金 (各回入替制) | 一般 1200円 / 学生・シニア 1000円 ◎神戸プラネットシネマ倶楽部会員: 一般 1000円 / 学生・シニア 900円 *当日2本目は200円引き

11/24 [木] 同志社大学寒梅館ハーディーホール **D**
 18:00 開場
 18:30 『晩秋』『偽りの出発』
 『二度の世界周遊』『かくも遠く、かくも近く』
 19:45 トーク | ルソー監督、赤坂太輔 (映画評論)
 通訳=廣瀬純 (批評)
 ◎料金 | 一般 1200円 / 会員 (Hardience、神戸プラネットシネマ倶楽部)・学生・シニア 1000円 *同志社大学学生・教職員 (同志社社内諸学校含む) 無料

12/2 [金] アテネ・フランセ文化センター **A**
 18:30 『Trois Fois Rien』
 19:50 Q&A | ルソー監督
12/3 [土] アテネ・フランセ文化センター **A**
 11:50 『晩秋』『かくも遠く、かくも近く』
 13:20 『彼の部屋から』『愛の歌』
 14:40 トーク | ルソー監督、廣瀬純 (批評)
 ◎料金 (両日共) | 一般 1200円 (2回券 2200円) / アテネ・フランセ文化センター会員・学生・シニア 1000円

神戸映画資料館 tel 078-754-8039
 神戸市長田区腕塚町 5-5-1-201
 アスタくにつか 1 番館北棟 2F
 info@kobe-eiga.net http://www.kobe-eiga.net/
 ○JR・神戸市営地下鉄 新長田下車 南へ徒歩 5分
 ○国道 2号線 (または高速高架) と大正筋商店街の交差点角のエスカレーターで 2F

同志社大学寒梅館ハーディーホール
 tel 075-251-3270
 京都市上京区御所八幡町 103 同志社大学寒梅館地下 1F
 ji-gakse@mail.doshisha.ac.jp http://d-live.info/
 ○地下鉄今出川駅下車 2番出口より北へ 60m 程
 ○駐車場・駐輪場はございません。公共交通機関をご利用ください

アテネ・フランセ文化センター
 tel 03-3291-4339 (13:00-20:00)
 東京都千代田区神田駿河台 2-11 アテネ・フランセ 4F
 info@athenee.net http://www.athenee.net/culturalcenter/
 ○JR 御茶ノ水駅「御茶ノ水橋口」出口より徒歩 7分
 ○JR 水道橋口出口「東口」出口より徒歩 7分
 ○東京メトロ丸の内線御茶ノ水駅より徒歩 10分
 ○都営三田線水道橋駅 A2 出口より徒歩 10分